

# KINJO MIND

金城大学 後援会会報誌 【カインド】

2004年3月発行号  
(第3号)



## ひたすら熱中できたから… 金城大学での体験と旅立ち

### 大学4年間のレポート

学生 吉田洸太朗・池田麻衣／特集

15年度後援会総会などの報告

就職支援事業報告と結果・・・1年生からアクションを！

対策講座への参加率、1期生の就職活動と内定状況など／キンジョウライフ

学園行事：15年度入学式、4学年すべてがそろいました

クラブ活動：卓球部、女子バレー部、今年も全国大会で活躍

オープンキャンパス：福祉車両の展示会なども

トピックス：日本介護福祉学会を本学で開催、世界障害者水泳大会にコーチ派遣

など／活動レポート

「人は城、人は石垣」という精神を福祉の担い手に

本田 昂／メッセージ

# 好きなこと出会い、成長を実感できた4年間に。

介護福祉コース4年 吉田光太朗・池田麻衣

平成十二年四月に開学、初年度二百名でスタートした金城大学も、今年四年目を迎え、学生も八百余名に。初の卒業生が巣立ちます。卒業生二名に本学での四年間を、どんな思いでスタートし、どんな体験、経験を経て、将来にどのようなビジョンを描いているのか聞きました。

世界のアスリートたちは皆輝いていた。感動と勇気を与える力を教えられた。吉田

金城大学を選んだのは、高校2年の時に亡くなつた祖父が入院していた時、介護というものが全くわからず何もできなかつたのを悔しく思い、福祉というものを身につけたいと思ったことが一番の理由です。大学に入学して全く無知の状態からスタートをし、どのように進んでいけばよいのか悩んでいた時に、ある授業で先生から障害者スポーツの指導員の資格を取つてみないかと言われました。そして、初級の指導員となりいろいろな場所に出る機会を得ました。その中でスペシャルオリンピックスという知的障害を持つ方々（以下「アスリート」と称す）の自立支援を目的とし、日常のスポーツプログラムや、競技会を提供している世界的なスポーツ団体の存在を知りました。そこではアスリートが皆輝いていて、今まで自分が持つていた偏見などを全て消して去つてくれました。

大学3年の夏には石川の選手団の水泳コーチとして東京で行われた全国大会に参加をさせてもらい、とてもよい経験ができました。大學4年になりイルランドで行われたスペシャルオリンピックス夏季世界大会の日本選手団の水泳コーチにも選ばれ、とてもすばら

しい経験をさせてもらいました。

世界各国の選手団が集まり、盛大に開会式と競技会が始まりました。

世界の大舞台で頑張っているアスリートを見て、私は感動のあまり涙を流したのを覚えています。彼らには知的障害というハンデがあつても決して弱い存在ではなく、人に感動と勇気を与えることができるのだと改めて実感しました。

大学では音楽部を友人と共に立ち上げ、今では4学年全てが揃い、人数も増え大きな部になりました。金城祭でライブをするなどいろいろな活動をし、皆で楽しく音楽に触れ合うことができるようになりました。

4年生になり、友人の紹介で遊学館高等学校で剣道を指導することになり、高校時代の熱い思いを今まで高校生と共にあじわっています。

介護福祉コースでは、今まで無知だった介護について勉強し、実習を繰り返す中で介護技術を身につけ、いつ就職しても大丈夫なように頑張つてきました。

そして、福祉施設への就職先も決まつた今、この金城大学で過ごした4年間は、私にとってたいへん貴重な4年間であったと実感し、とても充実した4年間であったと確信しています。



夢や目標に向け、ひたすら好きなことに熱中でき、成長させていただいたことに感謝。池田



振り返ってみると、大学生活は常に何かに夢中になつていていたように思います。教育と福祉という2つの分野の授業と、介護・社会福祉・教育と一連の実習で、真剣に将来を考えました。3年次には学友会の書記を、4年次には学園祭などの行事にはりきって参加。また、サークルで出会ったキンボール、夢だった教員の道をつかんだこと、忙しかったが充実した日々や、たくさんの出会いに、満足感でいっぱいです。

私がこの大学を選んだのは、中学生の頃から興味をできるからでした。実際には、これらを履修しようとするのは簡単ではなく、授業は福祉の専門科目のほかに、教職課程の授業が入るため週に3回は朝から夕方までびっしり、夏休みの半分近くが介護実習で、他にも社会福祉現場実習や教育実習がありました。

4年次には、4回の施設での実習では、無力さや知識の無さを痛感するなど、ぶつかった壁を乗り越えようともがき、成長していく様子を捉えました。一つの事に関し様々な捉え方があることを知り、その最善のものを選ぼうとすることで、可能性を広げる事にもつなげられます。利用者の生活を明るくしたり、共により良い生活を創造していくこととする職員の方々の職業観に触れる度に尊敬の気持ちを強く抱きました。

その後、より専門的な事を多く学び、福祉と教育の接点となるために高校生に福祉の世界を伝えたいという思いが高まりました。教育実習では、生徒と共に考え、生徒の抱えている想いに触れ、努力する姿に感動しました。そして、生徒にもらった言葉や思い出を励みに、教員採用試験を受けることを決意しました。

試験勉強は本当に真剣でした。毎日学校に遅くまで残つて友人と勉強。教育観や福祉を教える意義などを熱く語り合うこともありました。そうして挑戦した採用試験の結果は「合格」。信じられませんでした。

4年間で、最も思い入れが強いのは、キンボールに出会つたことです。始めは友人と楽しむ程度でしたが、3年の全国大会で3位になり、運良く女子4人のうちの1人、世界大会の日本代表として選ばれ、カナダに行きました。カナダでは国際交流など、またとない体験をしました。

周りの友人たちとは違うカリキュラムには音を上げる事もありましたが、目指す将来のためと同じ教員を目指す友人たちと励ましあい、逆に楽しみながら授業を受けていたように思います。

4回の施設での実習では、無力さや知識の無さを痛感するなど、ぶつかった壁を乗り越えようともがき、成長していく様子を捉えました。一つの事に関し様々な捉え方があることを知り、その最善のものを選ぼうとすることで、可能性を広げる事にもつなげられます。利用者の生活を明るくしたり、共により良い生活を創造していくこととする職員の方々の職業観に触れる度に尊敬の気持ちを強く抱きました。

その後は結果を出せず、「元日本代表」というプレッシャーがのしかかりました。新入生が加わり、「強くなれたい」「もう一度カナダに行きたい」という気持ちが高まり、気がつくと朝、昼、夜と都合のつく時間を練習にあて、暇さえあれば作戦を練るほど夢中になっていました。チームメイトとは何度も話し合い、励まし合い、自分たちのプレイを模索しました。そして、十一月の国際大会の日本代表選考となる全国大会で、もてる全ての力を發揮し、女子チームで初優勝。嬉しさと興奮で涙が止まりませんでした。

授業や実習、教員採用試験、キンボールなど、頑張つたというよりは夢や目標、将来のために向け、ただひたすら好きなことに熱中していたように思います。不安になつたり、悩み、壁にぶつかって立ち止まるたびにたくさんの人たちが支えてくれ、力を与えてくれたおかげです。家族はもちろん、友人や応援してくれたおかけです。先生方の存在は大きく、かけがえのないものだと思っています。これまでのすべての経験から学んだことはこれから私の糧になつていくでしょう。

私を支え応援し、結果を自分の事のように喜んでくれた皆様に、この場を借りて深くお礼申し上げます。金城大学に入つて良かったと、心からそう思えることに幸せを感じずにはいられません。

# 本学初の4年生をサポート／就職支援事業報告

金城大学は、今年、初めての卒業生を送り出します。本学では、四年間かけて学生の就職支援を続けていますが、本年度の活動、就職状況、および四年間の支援プログラムなどを案内します。

## ●就職進学支援室の事業報告

就職進学支援室にて実施しております就職関連支援事業に対しまして、日頃より後援会会員皆様のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

平成十五年度に実施しました支援事業を次ページの表にまとめました。

前年度と比較して、参加率が悪くなってきたいる事業があります。特に全学年全員を対象としている「就職ガイダンス」と三年生対象「就職活動対策講座」への参加率低下傾向がみられます。

学生へのはたらきかけを再検討しておりますが、厳しい昨今の競争状況をご理解されている保護者の皆様からも、是非ご子息に「行事参加の必要性など」を、ご説明お願いできれば幸いです。「平成十六年度行事一覧」は四月の就職ガイダンス時に学生に配布します。

## 「福祉施設等」…決め手は実習・ボランティア活動等一年生からの関わり。

福祉施設採用担当者のほとんどの方が「採用の基準は人間性」と言われます。実習はもちろん、積極的なボランティア活動で自分をアピールすることが重要です。活動中の言動が評価され、就職に結びつくケースが散見されます。実際には八月頃から求人票が届き始めますが、それまでに如何に希望施設と関わっておくかが重要です。

職種は、ほとんどが「介護職」。「相談援助職」での求人は期待していたより少ない状況でした。高齢者施設では「介護職」として新卒採用し、現場経験を経た後「相談援助職」としての活躍を期待しています。

**【教員】…・石川一名／富山一名採用試験合格。**  
いずれも「福祉」での採用でした。「公民」「社会」では現職数が多く、競争率も高いようです。



## ●一期生(十五年度卒業生)の就職活動から

### 「一般企業」…決め手は早期スタート(三年生夏休み以降の活動)とラットワーク。

年々就職活動が早期化しており、スタートが早いほど有利です。内定の出た約十名は、早期より「自己分析」「志向動機」「自己PR」「企業研究」等に取り組み、企業訪問・合同会社説明会等フットワークの良さがカギとなる事例がありました。企業訪問をより多くこなす事で、直接に自信を持つて対応できた事が、結果に結びついたと分析しています。

## ●就職内定状況

就職内定率・八八・七%です。(二〇〇四年二月末日時点)就職内定率(%) = 内定者数(一四九人) / 就職希望者(二六八人) × 一〇〇

**1年生**  
将来の目標設定!  
充実した学生生活の目標も設定。

## 約半数が特別養護老人ホームへ

業種／施設種別	詳細／内訳	内定者数(コース別)		
		介護	社福	計
福祉施設等	特別養護老人ホーム	41	33	74
	介護老人保健施設	8	9	17
	デイサービスセンター	2	1	3
	ケアハウス	1	1	2
	グループホーム	1	1	2
児童施設	児童養護施設、知的障害児施設	0	4	4
障害者施設	身体障害者療護施設、知的障害者授産施設、他	3	8	11
病院	病院	5	9	14
その他	社協、保育園	1	2	3
企 業	卸売・小売業	3	7	10
	サービス業	0	1	1
	建設業	1	0	1
	飲食店・宿泊業	1	0	1
	医療・福祉	1	2	3
	金融・保険業	1	0	1
教 員	高等学校教諭	2	0	2
	計	71	78	149

## 4年生

就職活動と同時に、  
社会人としての  
意識改革を！



都道府県	福祉施設等	企業	教員	計
石川	88	11	1	100
富山	23	0	1	24
福井	9	1	0	10
新潟	2	0	0	2
長野	1	0	0	1
岐阜	1	0	0	1
滋賀	1	0	0	1
京都	1	0	0	1
茨城	1	0	0	1
愛知	1	1	0	2
大阪	1	1	0	2
東京	0	3	0	3
計	130	17	2	149

地域別（本社本部所在地別）では九〇%が北陸三県

職種	内定者数		
	介護	福祉	計
介護職	60	48	108
相談援助職	2	18	20
福祉専門職	1	1	2
調理員	0	1	1
営業職	5	4	9
接客業	1	2	2
事務員	0	3	2
教員	2	0	2
計	71	78	149

職種別では介護職が半数以上でした。

## 3年生

進路を選択し、  
目標を再設定、  
計画を立てて行動を！

1年生からアクションを！

行事名	1	2	3	4	実施日	内容	費用
<b>総合支援</b>							
1年生就職ガイダンスⅠ	○				4月4日(金)	「新入生オリエンテーション内」で実施。就職を意識した学生生活の送り方について。	無料
2年生就職ガイダンスⅠ		○			4月2日(水)	2部構成 外部講師による就職講座／支援室からの各種情報提供	無料
3年生就職ガイダンスⅠ			○		4月2日(水)	2部構成 外部講師による就職講座／支援室からの各種情報提供	無料
4年生就職ガイダンスⅠ				○	4月1日(火)	「教務オリエンテーション内」で実施。 支援室からの各種情報提供	無料
1年生就職ガイダンスⅡ	○				10月1日(水)	2部構成 外部講師による就職講座／支援室からの各種情報提供	無料
2年生就職ガイダンスⅡ		○			10月1日(水)	2部構成 外部講師による就職講座／支援室からの各種情報提供	無料
3年生就職ガイダンスⅡ			○		10月1日(水)	2部構成 外部講師による就職講座／支援室からの各種情報提供	無料
4年生就職ガイダンスⅡ				○	1月14日(水)	外部講師による「社会人として必要な心構え・知識・情報」	無料
進路希望調査	○	○	○			就職ガイダンス内で実施、3年生は前期のみ	無料
進路登録			○		10月31日(金)	就職活動に備えるために希望進路を最終的に決定し、登録カード提出	無料
自己発見レポート	○				4月18日(金)	学生生活を意欲的に取り組むための自己理解テスト	無料
就職適性検査			○		6月3日(火)	進路選択や就職活動の前に必要な自己理解・自己分析のための検査	無料
就職模擬試験			△		11月17日(月)	就職試験(筆記試験)に備えるための模擬試験	1,500円
就職活動対策講座			△		12月7日(日)	就職活動に必要となる面接・マナー・履歴書記入に関する講座	無料
4年生個人面談・相談会				○	4月15日～5月10日	希望進路に応じた具体的な活動についての個別アドバイスなど	無料
3年生個人面談・相談会Ⅰ			○		10月14～31日	希望進路、今後の活動についての個別アドバイスなど	無料
3年生個人面談・相談会Ⅱ			△		12月8～19日	企業希望者対象、具体的な活動についての個別アドバイスなど	無料
<b>進路別支援</b>							
企 業	企業研究講座	△	△		11月25日(火)	企業より講師を招いての企業研究のための講座	無料
	内定者報告会(企業)	△	△		11月10日(月)	4年生による活動体験談、後輩へのアドバイスなど	無料
施設等	福祉人材センター登録会			△	4月16日(水)	北陸3県福祉人材センターの登録説明・登録	無料
	福祉施設等研究講座		△	△	11月28日(金)	福祉施設等より講師を招いての施設等研究のための講座	無料
	福祉施設等就職対策講座		△		11月15, 19日	就職活動方法に関する具体的な説明など	無料
公務員	内定者報告会(福祉施設等)	△	△		1月27日(火)	4年生による活動体験談、後輩へのアドバイスなど	無料
	公務員希望者対象説明会	△	△	△	4月23日(水)	公務員の種類・公務員試験の概要・公務員試験対策講座の説明	無料
	公務員採用試験対策講座	△	△	△	6月～16年5月	※14年度受講者は15年5月まで	25,000円
教 員	教員希望者対象説明会	△	△	△	4月24日(木)	教員採用試験の概要、教員採用試験対策講座の説明	無料
	教員採用試験対策講座	△	△	△	6月～16年5月	※14年度受講者は15年5月まで	25,000円
<b>社会福祉士資格取得支援</b>							
	社会福祉士学内模擬試験Ⅰ			△	4月26日(土)	過去の国家試験問題使用	無料
	社会福祉士学内模擬試験Ⅱ			△	7月5日(土)	業者テストの学内実施	1,000
	社会福祉士学内模擬試験Ⅲ			△	10月4日(土)	業者テストの学内実施	1,000
	社会福祉士学内模擬試験(追加)			△	12月21日(日)	過去の国家試験問題使用	無料
	社会福祉士全国統一模擬試験		△	△	11月9日(日)	日本社会福祉士会による全国規模の模擬試験を学内で実施	5,500円
	社会福祉士国家試験対策講座			△	10月～16年1月	試験科目のポイント解説・全国統一模試の解説を中心とした講座	無料
	受験申込手続き支援			△	10月7日(水)	申込説明会6回実施。 試験センターに一括申込み。	12,700円
<b>資格検定取得支援</b>							
	日本漢字能力検定	△	△	△	6月、10月、2月	2級までを学内で実施(6月、2月)、他は公開会場(学外)	有料

備考: ○全員対象 △希望者対象

## Academic Activities

- ジャパンオープン(東京) 男子・3位、女子・優勝、3位、混合・3位  
この他、講習会の開催など、活発に取り組んでいます。(学生代表: 沖野 来夢)



### ●バドミントン部

毎週水曜日、18時から21時までの短い時間ですが、集中して練習を行っています。

今年は部員も大幅に増え、16年度は練習日も増やし、大会出場を目標に、厳しく、そして楽しく活動していこうと思います。

(学生代表: 赤津 慎太郎)

### ●陸上部

第77回北信越学生陸上競技対抗選手権(5/17、18: 新潟市営陸上競技場) 女子走り高跳び 2位 1m55 池田久美子

第34回北信越学生陸上競技選手権(10/11、12: 石川県西部緑地公園陸上競技場) 女子走り高跳び 1位 1m55 池田久美子

(学生代表: 坂井 晴彦)

## Open Campus

### 3 オープンキャンパス

8回開催。高校生の皆さんと先生や学生が気軽に懇談

今年度も、6月から9月にかけて、土日を中心計8回のオープンキャンパスを開催しました。特に9月21日(日)に実施されたオープンキャンパスは、北陸初の日本介護福祉学会が社会福祉学部棟で開催されており、オープンキャンパス自体は短期大学部棟の校舎を間借りして行なわれたものの、めったに味わえないアカデミックな雰囲気に加えて、福祉車両の展示フェアなどいつもとは違うイベントも行われたこともあって、高校生にも好評だったようです。

10月から12月にかけては、入学試験を意識した小論文対策講座や入試直前対策セミナーが行われ、のべ350人以上の参加者を迎えるました。

今年は保護者の方々の参加が増加したことでも特徴の一つで、昨今は親御さんにとっても大学選びは重要な関心事になっていることをうかがわせました。

(入試広報室長/教授 加納 宏志)



## 4 研究会

第3回 北信越社会福祉史研究会 開催

昨年11月22日、新潟青陵大学において、「地域における社会福祉史研究の動向と 課題」を大会テーマに、社会福祉系の大学・短大の教員、福祉職員が集い、第3回北信越社会福祉史研究大会を開催しました。

大会では、新潟青陵大学の佐藤進会員(本研究会会長)が基調講演を「新潟県津川町4町村介護組合事業の事業史の史的研究を辿って—方法論研究をみてー」のテーマで行った他、本学の元村智明会員を含め会員4名がそれぞれ研究発表を行いました。

また、特別セミナーとして、東北社会福祉史研究連絡協議会事務局長の菊池義昭氏より、「地域社会福祉史の研究方法について」の貴重なお話がありました。参加人数は少ないものの、内容豊かな研究会となりました。

なお、本会では、この3月末に研究誌『北信越社会福祉史研究』(第3号)の発行を予定しています。(研究会事務局長/助教授 矢上 克己)



## Extracurricular Activity

### 5 体験レポート

本学で日本介護福祉学会を開催

#### 第11回日本介護福祉学会

9月20・21日(土・日)に、第11回日本介護福祉学会が開催されました。

市民生活の中での介護サービスと介護専門職のあり方にについて新しい地平を見つめるべく、大会テーマを「日本の介護福祉、次の10年~広がりと深まりを求めて~」として、本学及び松任市学習センターを会場として開催されました。



### 世界障害者水泳大会にコーチ派遣

6月14日から7月2日の期間で第11回スペシャルオリンピックス夏季世界大会がアイルランドにて開催されました。

本学学生の吉田洸太朗(4年生)が水泳種目のコーチとして派遣されました。ボランティア活動の一環ではありました、学生本人にとってはたいへん大きな経験になったこと思います。(関連記事:特集)



### 新食堂・売店がオープン

日光アリーナ(体育館)横に、新しい食堂と売店がオープンしました。

從来に比べ、席数も多く、スペースもたいへんゆったりとした空間となっており、昼食時に限らず学生の憩いの場となっています。



## 平成15年度後援会 総会・懇談会の報告

6月28日(土)に後援会総会及び懇談会を本学1階大講義室にて開催しました。当日は、保護者104名(1年生25名、2年生20名、3年生19名、4年生40名)の出席となりました。

総会では、高嶋後援会会長、三澤学長の挨拶に始まり、会長・役員・委員の選出(下表)、平成14年度事業報告並びに決算及び平成15年度事業計画並びに予算について報告し、承認が得られました。その後の懇談会では、保護者の皆様から学内生活、就職、教育内容等の多くのご意見・質問を頂き、本学教員にとってもたいへん有意義な意見交流の場となりました。

### 平成15年度 役員・委員氏名 (敬称略)

会長	高崎 哲
副会長	森 泰洋 橋本美咲
監査	宮井雄司 島 時次
委員 (4年)	小笠原省三 辰野邦子 青木一八
	大懸恭子 川通 洋 小堀和子
	高橋亘 谷村松一 德野憲一
	松永久美子
委員 (3年)	川村恵子 西東晴江 井合涼子
	奥田幸子 坂本博幸 中出 修
	西出陽子 古谷正幸 宮崎永次
委員 (2年)	太田順司 堅田義光 琴坂幸広
	白江将二 西田茂喜 山本淑江
	荒井雅子 政氏啓子 吉田 寛
委員 (1年)	青江初美 浅井二郎 土居岸直美
	中野仁美 前田茂男 西本 清一
	端谷 宏 益江 守 酒井光夫
佐々木英雄	

# 活動レポート

Flame

## Event

### 1 学園行事

206人が新たに加わり、充実した企画が行われました。

#### ●入学式

平成15年度入学式が4月3日(木)、松任市民会館で行われ、206人が意欲も新たに大学生活のスタートを切りました。

三澤義一学長が「高い志とフロンティア精神をもって学んでほしい」と式辞を、加藤晃理事長が「目標を持って学び、青春の素晴らしいページを刻んでほしい」と激励しました。

角光雄松任市長、大本久男同市議会議長、森泰洋後援会副会長が祝辞を述べ、最後に新入生を代表して、安土貴子さんが宣誓をしました。開学4年目を迎えた今年、4学年すべてがそろいました。



写真 北國新聞社提供

#### ●新入生歓迎会

午前中に部活動紹介、午後はオリエンテーションとbingo大会を行いました。大学内の部活動やサークルを知つてもらうため、部・サークルの代表者に部活動内容等を説明してもらいました。オリエンテーションでは新入生同士や先輩との交流を目的に、学年ごとに人数を均等に分け、回る箇所ごとに班員全員で行うゲームや、本学に関連したクイズ等を行いました。

また大学内部を、多く見てまわれるようなコースを設定。ひとつの場所に班が集中してしまう等の問題も少し発生ましたが、全体的には大きな問題もなく終えることができました。

bingo大会は参加者も多く、大変盛況でした。入学式から期間を空けずに実施できたため、交流が活発になりました。

(新入生歓迎会実行委員長 瀧上武士)

#### ●学園祭

11月1・2日(土・日)に短大部と合同の学園祭「金城祭」が開催されました。ようやく本学も4学年全てが揃い、企画・運営にも力が入っていました。思えます。

スペシャルゲストに「day after tomorrow」を迎え、学生もクラス、ゼミ、サークル、部活単位で出店・研究発表等をし、盛況の内に終了しました。来客者数も昨年を上回り、充実した2日間となりました。



## Culture and Athletics

### 2 クラブ活動

卓球部、女子バレー部が今年も全国大会で活躍

#### ●卓球部

女子は北信越春の大会で26年連続優勝をしており、男子は大学設立されて2年目から3年連続優勝という負けなしの成績を修めています。そして「全日本大学対抗卓球選手権」でベスト8以内、全日本学生卓球選手権でランク入りを目指に日々練習に励んでいます。(試合成績)  
5月 春季北信越選手権(石川) 団体男女、男子 森貴、女子 平野、ダブルス 西見・宮里 優勝  
8月 全日本大学対抗卓球大会(青森) 団体男女 決勝トーナメント出場  
夏季北信越選手権(新潟) 团体男女、男子 森普、女子 西見、ダブルス 西見・宮里組 優勝  
10月 第70回全日本学生選手権(尼崎) 各選手2回戦、3回戦進出  
秋季北信越学生選手権(富山) 团体男女、女子 宮里、ダブルス 西見・宮里組 優勝  
12月 北信越新人選手権(福井) 团体女子、女子 濑山、ダブルス 濑山・堀木組 優勝  
(監督/教授 矢吹 嘉昭)



#### ●女子バレー部

4月 第30回森田杯北陸3県学生春季リーグ戦1部準優勝(4勝1敗)  
5月 石川県バレー部祭一般の部 3位  
6月 第34回春季北信越大学選手権1部 準優勝(4勝1敗) 第22回東日本大学選手権 ベスト16(48大学中)  
9月 第30回森田杯北陸3県学生秋季リーグ戦1部 準優勝(4勝1敗)  
10月 第51回秋季北信越大学選手権大会1部 準優勝(4勝1敗)  
12月 第50回秩父宮杯全日本大学女子選手権大会 ベスト32(112大学中)  
(監督/講師 松下 高信)



#### ●硬式野球部

今年度の成績は、北陸大学野球連盟春季リーグ戦では石川高専、富山商船、金沢高専と対戦し、2勝4敗(第3位)。金沢市長杯は1回戦金沢学院大学と対戦し、2-12で敗退。北陸大学野球連盟新人戦は1回戦金沢大学と対戦し、0-9で敗退。同連盟秋季リーグ戦では福井県立大学と対戦、6-11、6-7で2敗(来年度2部リーグ昇格)

今年は不満足な成績だったので、来年は全ての試合を勝てるよう努力したいと思います。(学生代表: 北川 陽一)



#### ●準硬式野球部

15年度春季北信越大会 予選リーグ敗退  
第10回関東親善大会 北信越地区選抜 優勝(金城大3名 宮下、久田、西)  
15年度秋季北信越大会 ベスト8  
第21回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会 北信越地区選抜 予選リーグ敗退(金城大1名 久田) (学生代表: 宮下 真司)



#### ●硬式テニス部

今年は石川県の大会と、北信越の大学の大会に参加、昨年と比べ、予選を勝ち抜き本選に出場する選手も増えました。  
男子: 3月 大学別団体戦出場。5部で優勝し、6月4部・5部入れ替え戦に出場。入れ替え戦でも勝ち、4部に昇格。女子: 春・夏ともシングルス・ダブルスとも本選出場。  
個々が目標を持ちレベルの高いテニスをしています。日常の練習では、月・水・金曜日に短大横のテニスコートで16時から練習しています。来年は、4部団体戦を勝ち抜き3部昇格を目指しています。(学生代表: 鈴木 亮平)



#### ●男子/女子バスケットボール部

短大生も一緒に毎週火・木に学内の日光アリーナで活動しています。女子は笹本杯争奪春季北信越大会のリーグ戦で3部3位、第10回石川県大会ではベスト4の成績を残しました。男子は今年の接戦を活かし、公式戦初勝利を目指に日々練習に取り組んでいます。人数は少ないですが楽しく、時に厳しく練習しています。(学生代表: 垣内 崇博)

#### ●NSS

全国各地のキンボールの大会に参加し、上位成績を修めました。  
キンボール石川大会(鶴来) 優勝、3位  
滋賀オープンキンボール大会(滋賀) 準優勝  
ケベックカップ(大阪) 男子・準優勝&3位、女子・準優勝

# 「人は城、人は石垣」という精神を 福祉の担い手に



私たちが本学に社会福祉学部を設置いたしましたのは、当然のことながら本格的な高齢化社会が目前に迫っているからであります。すでに国民の五人に一人が六十五歳以上人口に属しますが、この比率はさらに高まり、二十年後には四人に一人が高齢者になると予測されています。未曾有の超高齢化社会の到来に備え、福祉や医療、介護の担い手になる人材を育成することこそ、本学にとっての時代の責務であると考えたわけです。

「人口の高齢化は、人類がより良い社会を構築する絶好のチャンスである」——国連人口開発会議のカイロ行動計画（一九九四年）ではこのように諷われました。確かに高齢化の進展は喜ばしいことであり、チャンスにしなければなりません。しかし、高齢者の増加に伴い、障害者や要介護者の数が相対的に増えることもまた事実であります。国や自治体におきまして諸制度が整備されつつありますのも、このためです。

のみならず、現代人は絶えず疾病やケガと隣り合わせになり、年齢を問わず、誰しもが障害者になる可能性を孕んでいます。もとより種々の予防により、障害をもつ可能性を減らしていくことも課題であります。併せて重要なことは、不便や不都合を和らげ、できるだけノーマライゼーションとインテグレーションを推進することです。換言しますならば、共生社会の実現こそが「より良い社会」を意味することだと考えます。

しかし、申し上げるまでもなく、福祉は単に制度や機械によって施せるものではありません。戦国の武将・武田信玄は「人は城、人は石垣」との名言を残しましたが、福祉や介護もまた然りであります。たとえ制度が整備されましても、その担い手、すなわち人材が育たなければ画竜点睛を欠くどころか、無味乾燥な「補助」になつてしま�니다。立派な担い手が育成されてこそ、潤いと安らぎに満ちた共生社会が確立されるのです。

もとより福祉や医療、介護の担い手には、それ相当の高度な技術力と専門知識が求められます。しかし、これらに劣らず重要なのは豊富な人間性であり、思いやりに他なりません。とりわけ心の教育は机上ではなく、多様な演習やボランティア活動、経験を通じて育まれ、福祉の根幹を成します。心と体、そして頭の三位が一体となって初めて異世代と異世帯の垣根を低くし、共生社会の実現に貢献できる人材になると確信いたしております。

# 本田 昇

日頃は本学に温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。皆さまのお蔭により、本年、金城学園創立百周年を迎え、また社会福祉学部の第一期生が社会に大きく羽ばたくに至りました。卒業生達が明日の福祉社会のリーダーとなり、八面六臂の活躍をされんことを祈念いたします。

私どもも引き続き有為な人材の育成、そして高齢化社会をより良い社会を構築するチャンスにできるよう精一杯努めてまいります。皆さまにおかれましても、本学のさらなる充実と発展のため、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、そして大所からご助言を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

メッセージ

本田 昇（ほんだ たかし）  
一九三二年富山県生まれ。一九五四年金沢大学理学部卒業。  
一九六七年金沢大学医学部専修生修了（医学博士）。一九七三年米国ハーネマン大学医学部準教授。一九七六年富山医科大学薬科大学医学部教授、一九八六年同大学評議員、一九九六年同大学副学長、二〇〇一年同大学名誉教授。（二〇〇一年金城大学社会福祉学部教授、二〇〇三年金城大学短期大学部学長補佐。（二〇〇四年四月金城大学学長就任予定）